

算数？得意です！



台風一過です。少し涼しくなった感があります。二日間休校となり、校内でも台風襲来に向けて緊張感をもって備えをしましたが、思ったほどではなくホッとしたところです。各ご家庭での被害等の報告もありませんでした。ただ、県外では大きな被害とともに犠牲者が出たところもありました。被災地に思いを馳せながら、今週から夏休み明けの本格的な教育活動に、張り切って取り組んでおります。

二八日(水)にオンラインで行った夏休み明けの集会では、生徒指導担当の鶴野教諭が八・九月の目標「あいさつ」について話をしながら、各学年に生声での返事とあいさつを求めました。六年生から順番に声を出していきましたが、オンラインのスタジオである図書室まで子どもたちの声は届いたのです。一番教室が遠く、間に一年生の校舎を挟む不利な位置の四年生の声もかすかに届きました。こういうことに面白がって乗ってくる西南小の子どもたちが大好きです。

保健室からの話では、スマホの使い方のオリジナル動画が上映され、教職一・二年目の若手の教諭の熱演に子どもたちは喜び、笑顔で見入っていました。

そして、校長の話で私が子どもたちに伝えたのは、今年、そしてこれから、西南小全体で更に頑張っていきたいことです。それは何かと問うたものの、オンラインなので反応がわかりません。画面越しにもちんぷんかんぷんの表情が多数見えたのみです。無理ありません、話の流れもヒントもなく聞いたのですから。

子どもたちと今年頑張りたいのは、以前もお伝えした通り算数です。理由は下の表が物語っています。四年生以上の学力調査結果において、令和五年四月の学力調査結果を一〇〇とした場合のその後の数値です。算数の落ち込みが明確です。さて、子どもたちの苦手分野について

学力調査	国語	算数
R5年 4月	100	100
R5年12月	104	99
R6年 4月	103	98
R6年12月	?	?

- 六年：小数と分数、面積、立体と体積
- 五年：小数、面積、平行四辺形の作図
- 四年：大きい数・小数・分数、円と球・三角形
- 三年：たし算・ひき算(加法の結合法則)
- 二年：三つの数の計算、長さ・かさ、絵グラフ



あくまで各学年の傾向なので、それぞれが自分の苦手な内容を知ることが大切です。西南小の児童は図形が苦手な傾向にあります。我々の授業改善がまず必要であり、改善の過程で児童の課題解消や苦手意識克服を進めているところです。授業研究をしたり、木曜の帰りの会に問題を三問解いて帰るといった名付けて「Chocoben」に取り組んだりしているところがあります。また、校内には至る所に思わず算数を学んでしまうような仕掛け(タイトル写真)も設けられています。

全員でしっかり目標を共有して取り組むことこそ効果的です。だから、休み明けの集会で「みんなで算数を頑張ろう！」と声高らかに伝えました。そして、どう頑張ればいいのかを、ざっくり二つ言いました。

○人と比べないこと ○できること、できそうなことから取り組むこと

今後、取組を継続していく上で、この二つの心がけは児童にとっても大人にとっても大事です。自分より出来る人を見て、「自分はダメだなあ」なんて思う必要は全くありません。それぞれのペースで頑張ればいいのです。八・九月のコーチングそのものです。

そして、できる問題、できそうな問題から取り組むことです。そのためには自分を知ることが大事です。出来なことがたくさんあるかもしれません。あったら、その中の出来そうなことから始めます。

最後に、夏休み明けの集会では伝えていませんが、次の児童集会ではもう一つ伝えようと思っています。それはすぐに結果を求めないことです。どの身体は長い時間をかけて成長します。同じように、勉強も毎日少しずつ続けていくことで、積み重ねが学力になります。学力は習慣なのです。最後に、言わせたいコーチングワードを。

算数？
得意です！



「算数コーナー『自分らしく生きる！』」

ありのままの自分でだいじょうぶ！

自分らしく素直に生きれば

だいじょうぶ！